

【予算編成の考え方】

◆輝く明るい未来に力強く踏み出す施策の展開

区財政においては、特別区税収入の増加が続いているものの、ふるさと納税による税流出は拡大傾向にあり、また、今後の老朽化等による公共施設整備を踏まえると、決して楽観できない状況にある。このような状況にあっても、コロナ禍を経た新たな時代において、区民一人ひとりが輝く明るい未来に力強く踏み出すため、すべての世代を支える施策を積極的に展開するとともに、区民の利便性と行政サービスの向上を図るためのDXの推進や、バックキャストイングの考え方にに基づき、各施策を推進する予算を編成した。

◆課題解決に向けた戦略的な施策の展開

令和6年度を初年度とする次期「文の京」総合戦略では、より一層、スピード感を持って、主要課題の解決に向けた戦略的な施策を展開する。

◆重点施策は46事業、約82億円

◆一般会計の予算規模は、1,275億2,800万円 (前年度比9.7%増(113億2,000万円増)／当初予算としては過去最大)

◆基金の活用

歳入不足補填のため、財政調整基金を約86億円取り崩す。また、区有施設の老朽化等に伴う大規模な施設整備等に対応するため、特定目的基金を約90億円取り崩す。

【一般会計 予算規模】

【単位：百万円／％】

歳入	6年度	5年度	増減率
一般財源	83,351	76,086	9.5
特別区税	39,505	38,572	2.4
配当割交付金	750	600	25.0
株式等譲渡所得割交付金	700	680	2.9
地方消費税交付金	6,800	6,700	1.5
特別区交付金	23,000	22,800	0.9
財政調整基金繰入金	8,614	5,265	63.6
その他収入	3,982	1,470	171.0
特定財源	44,177	40,122	10.1
国庫支出金	14,414	16,312	△11.6
都支出金	10,327	8,752	18.0
特別区債	4,500	3,000	50.0
特定目的基金繰入金	9,004	6,014	49.7
その他収入	5,932	6,044	△1.9
計	127,528	116,208	9.7

歳出	6年度	5年度	増減率
義務的経費	52,990	48,340	9.6
人件費	25,543	22,897	11.6
職員給与費	16,298	15,506	5.1
退職手当	763	288	165.0
その他	8,482	7,103	19.4
扶助費	26,805	25,002	7.2
公債費	642	441	45.5
投資的経費	20,145	15,481	30.1
その他	54,393	52,387	3.8
計	127,528	116,208	9.7

【令和6年度予算で取り組む主要事業等】

子どもたちに輝く未来をつなぐ

未就園児の定期的な預かり事業

幼稚園、保育所等において、保護者の就労の有無にかかわらず、保育所等を利用していない生後4か月から2歳児クラスまでの子どもを、週1～2回定期的に預かる事業を行う。また、利用者のうち生活保護受給世帯や区市町村民税非課税世帯等に対し、利用料を補助する。【P.1】

育成室待機児童解消加速化プラン

民間賃貸物件を活用した育成室の整備や都型学童クラブの誘致促進により、早期の待機児童解消を目指すとともに、児童館機能や放課後全児童向け事業の拡充により、待機児童の家庭をサポートする。【P.5】

子どもの学び支援事業

＜多様な担い手で紡ぐ個が輝く教育＞

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実及び児童・生徒等の多様化への対応が求められていることから、子ども一人ひとりの良さや可能性を引き出す教育を行うため、各種指導員等の人的配置を充実させる。【P.2】

＜スクールソーシャルワーカーの全校配置＞

小学校・中学校に在籍する児童・生徒について、児童等を取り巻く環境に応じて、福祉の窓口につなぐなどの福祉的な支援ができるよう、スクールソーシャルワーカーを全校配置するための体制を構築する。【P.3】

＜校内居場所(別室)対応指導員配置の拡充＞

校内の別室において学級に馴染めない児童・生徒の対応をする校内居場所(別室)対応指導員の配置を、10校から12校に拡充する。【P.4】

健康で安心な生活基盤の整備

障害者(児)施設整備促進事業

障害者(児)が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、グループホームや通所施設等に係る施設整備費及び開所費用に対する補助を拡充するとともに、民間建物を活用した区立放課後等デイサービス事業所等や公有地等を活用した障害者施設の整備を行う。【P.6】

おたふくかぜワクチン助成制度の拡充

様々な合併症や後遺症の頻度も高いおたふくかぜについて、ワクチン接種における接種費用助成回数を2回に拡充する。【P.7】

重層的支援体制整備事業(移行準備)

地域共生社会の実現に向け、本区における地域包括ケアシステムの更なる進化・発展のため、各分野の支援機関が連携して一つのチームとなり、地域資源やネットワークを重ね合わせることで、本人やその世帯が有する地域生活課題や希望に応じた多様かつ柔軟な支援体制を構築し、孤立させない、つながる地域づくりを目指す。【P.8】

文化的で豊かな共生社会の実現

町会・自治会における地域コミュニティ活性化支援補助事業

アフターコロナにおける地域活動の再開を促進するため、町会等の中止・縮小していた地域コミュニティ事業の再開等に対する補助を継続する。さらに、町会活動の担い手不足解消のため、町会等が様々な地域活動団体と連携して事業実施する場合には、追加補助を行う。【P.12】

Bunkyo Sports Park 2024 ～スポーツで考えるSDGs～

パリ2024大会関連種目のデモンストレーションによるステージイベント及びスポーツ団体との協働によるブース出展や、パラスポーツ、アーバンスポーツ、デジタル技術を活用した競技体験等を実施する。

スポーツに向けた気運を継続的に高めることでスポーツ振興を図るとともに、インクルーシブスポーツへの理解を深めスポーツ分野でのSDGsを推進する。【P.13】

施設関係の大規模な取組、その他重要性の高い施策

文京区DX推進プロジェクト

本区における自治体DXを一層推進するため、マイナンバーを利用したコンビニエンスストア多機能端末における証明書発行に新たに戸籍証明を追加するほか、区民等からの問い合わせに対応する「AIチャットボット」を導入する等、区民の利便性と行政サービスの向上を図る。【P.17】

学校給食費支援事業

学校給食無償化の対象外となっている国立、私立小・中学校等に通う児童・生徒の保護者に対して、給食食材費相当額を給付する。

※令和5年9月から実施している区立小・中学校の学校給食無償化も継続 【P.19】

活力と魅力あふれるまちの創造

文京ソコチカラ できることからサステナブルに がんばるお店応援キャンペーン

原材料費の高騰などの影響を受ける区内商店の利用及び環境に配慮した経済活動を促進するため、食品ロス削減、脱プラ、省エネ等のサステナブルな取組を進める区内店舗を対象として、値引きや「おまけ」などの消費者還元サービス相当分並びに環境に配慮した取組にかかる費用及び原材料等の購入費の補助を行う。【P.10】

文京区・ベイオウル区友好都市提携10周年記念事業

トルコの暦では2024年に日本・トルコ外交関係樹立100周年及び2025年に文京区・ベイオウル区友好都市提携10周年を迎えるため、令和6年度から7年度にかけて記念事業を実施する。6年度にトルコ区民ツアー及びトルコ文化講座を、7年度には、記念展示や映画の上映会等を実施し、友好都市の認知度向上及び区民の国際理解の定着を図る。【P.11】

環境の保全と快適で安全なまちづくり

防災アドバイザー派遣事業 ー在宅避難(自宅防災)訓練ー

在宅避難の更なる推進のため、町会・自治会等を対象に防災アドバイザーを派遣する事業について、在宅避難(自宅防災)訓練のメニューを追加するとともに、参加者に対する携帯トイレ等の配付を行います。【P.14】

中高層共同住宅AED設置助成事業

緊急時における救命率向上のため、中高層共同住宅の管理組合等が24時間誰でも使用可能な場所にAEDを設置する場合に、導入費用等を助成する。【P.15】

新エネルギー・省エネルギー設備設置費用助成事業の拡充

温室効果ガスの削減に向け、新エネ省エネ設備の普及のため、家庭用蓄電システム設備設置費用や断熱窓設置費用等の助成を拡充する。【P.16】

- ・誠之小学校改築
- ・明化小学校等改築
- ・柳町小学校等改築
- ・小日向台町小学校等改築
- ・千駄木小学校等改築
- ・学校施設等の快適性向上
- ・小学校の教室増設対策
- ・小日向二丁目国有地における特別養護老人ホーム等の整備
- ・旧区立特別養護老人ホームの大規模改修
- ・公園再整備事業
- ・新たな中高生施設の建設

【P.20】